

### 指定管理者制度活用事業 評価シート

#### 1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	株式会社明治スポーツプラザ・公益財団法人川崎市スポーツ協会共同事業体	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

#### 2. 事業実績

利用実績 (単位:人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	27年度	23,292	20,834	22,409	24,000	20,118	28,363	33,001	24,390	19,287	25,970	23,865	21,622	287,151
	26年度	18,358	25,906	21,959	21,941	21,638	22,423	27,657	21,588	15,935	26,210	38,486	24,335	286,436
	25年度	14,524	15,145	20,017	20,503	14,752	23,650	17,546	23,806	14,122	14,299	21,706	30,420	230,490
	24年度	14,327	16,240	21,871	17,344	14,795	20,170	18,027	21,120	12,290	17,601	19,387	17,997	211,169
	23年度	13,591	14,353	17,091	17,581	11,988	19,362	15,577	17,395	16,281	12,696	17,709	18,472	192,096

  

収支実績 (単位:円)	収入	指定管理委託費	48,215,605
		利用料金収入	24,833,809
		事業収入他	38,821,951
		収入合計	111,871,365
	支出	管理運営費	97,454,247
		支出合計	97,454,247
収支差額		14,417,118	

  

サービス向上の取組

- 利用者との懇談会で寄せられた意見から、鍵付きの傘立ての設置、トレーニング室に荷物置き場の増設を行った。
- トレーニング室や研修室の稼働率の低い時間を活用し、「ストレッチタイム」、「初めてトレーニング」等の無料ワンポイントプログラムを提供した。
- 幅広い年齢層のニーズに合ったスポーツ教室を開催し、人気のある教室については2部体制をとり運動内容のレベルアップを図るなどの工夫を行い、より多くの利用者が参加出来るよう配慮した。
- 年4回開催されるスポーツ教室について、多くの区民が受講できるよう市政だよりに掲載するとともに、区内の町内会・自治会へチラシを回覧するなど積極的な広報を行った。
- 施設利用回数券は、家族でも利用しやすい100円券12枚綴りを昨年に引き続き1,000円で販売し、利用者の利便性向上を図っている。(7,725組販売)
- 川崎フロンタレーや宮前区出身のアスリートの活動内容や総合型地域スポーツクラブの情報の掲示、サークル活動や地域活動の情報を掲示できる場所を提供した。

#### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な 運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3 (0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4 (0.8)	4
		(基本方針) ●公の施設の運営者として、区民の健康増進の役割を十分に理解し、若い世代のスポーツ教室にとどまらず、高齢者を対象とした介護予防プログラム、子どもの体力向上、運動への関心を高めるプログラム等、幼児から高齢者まで年齢や利用目的に合った教室の開催を行った。 (事業成果) ●新規スポーツ教室や幼児・児童向け教室、自主事業イベント参加者を対象にアンケート調査を8回実施した。スポーツ教室アンケートでは、指導内容に対する満足度が9割以上であったことや、体調が良くなったと運動の効果を感じている人が6割以上いたこと、また11月には外部委託による「顧客満足度調査」を行い、総合満足度は84パーセントで昨年度より12ポイント向上したことなど事業成果の測定・検証を適切に行っている。 ●利用者との懇談会を開催し、利用者の意見・要望を直接聞く他、ご意見箱の設置、地域関係団体(周辺自治会、小学校、中学校、総合型地域スポーツクラブ等)との意見交換を行うなど、積極的に課題の抽出を行っている。			

管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことが無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3 (0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4 (0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4 (0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4 (0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4 (0.8)	4
	<p>(評価の理由)</p> <p>(諸施設の活用と提供サービス)  ●大会・団体利用の際には主催者の要望に応え、早い時間からの入館を可能としたり、トレーニング室や研修室の稼働率の低い時間を活用し、15分～45分の「無料ワンポイントプログラム」、「お手軽ショートプログラム」の提供や、プロテインのバラ売りなどサービス向上を図っている。</p> <p>(利用促進)  ●乳幼児を持つ母親のスポーツ参加を支援する保育サービス付きのスポーツ教室の開催や、年4回スポーツ教室募集案内等を区内全町内会へ回覧し、メール会員の募集、近隣地域へのチラシのポストトリングを行うなど利用促進を図った結果、スポーツ教室の受講率は81%と高水準であり、トレーニング室利用者数も増加した。  【トレーニング室利用者数】 平成26年度 52,882人、平成27年度 59,973人</p> <p>(職員研修)  ●休館日を利用して、接遇研修、コンプライアンス研修など様々な研修を行い、当日参加できなかったスタッフには、後日フォローアップ研修を行っている。また毎朝CPR(心肺蘇生法)訓練、接客10大用語唱和を行い、スタッフの資質向上を図っている。</p> <p>(危機管理)  ●火災訓練、災害時避難誘導訓練を行った。また、犬蔵中学校格技室棟との合築施設となっているため、災害発生時には連携した対応が必要だが、引き続き連絡・連携体制の確認を行うなど、危機管理体制を確立している。</p>				
事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3 (0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3 (0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4 (0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	<p>(評価の理由)</p> <p>(個人開放事業)  ●小学生から大人、高齢者、障害者の方まで幅広く参加できる個人開放事業を行い、前年度比106%の利用があった。卓球は高齢者から高い支持を得ており、「リフレッシュ体操」、「ソフトリフレッシュ体操」、「エアロピクス」は講師付きのプログラムとなっており、安全かつ手軽に運動できるように配慮されている。</p> <p>(教室等事業)  ●乳幼児から高齢者まで多様な目的に対応できるスポーツ教室や新規教室2講座(幼児体操教室、ファイティングエアロ)の増設を行った結果、平均申込み率は94%と非常に高く、前年度比106%の受講者数であった。また予約不要のショートプログラム(有料)を3種目から7種目へ増設したところ、受講者数が384名から5,654名へと大幅に増加した。  【スポーツ教室受講率】平成23年度:79%、平成24年度:89%、平成25年度:88%、平成26年度:86%、平成27年度:81%</p> <p>(総合型地域スポーツクラブの支援)  ●菅生S.C.C.に対して、活動場所の提供、講師派遣協力を実施した。宮前スポーツセンターのダンス初心者クラスを終了した受講者が、スキルアップのため菅生S.C.C.のダンスクラスに参加している。ファンズスポーツクラブ宮前に対しては、障害者スポーツ支援の活動場所として会場を提供した。</p> <p>(自主事業)  ●防犯と武道をテーマに行った「合気道で護身術」、体調不良と天候の関係をテーマにした「天気予報で体調管理」などユニークな講座を開設した結果、初めてスポーツセンターを利用する区民の参加もあり、宮前スポーツセンターの認知度向上に貢献した。また、参加費無料の「宮スポフェスタ」を開催し、体育室開放、教室プログラム、インボディ測定を行うことで宮前スポーツセンターの利用促進につながった。</p>				

収 支 状 況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3 (0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3 (0.6)	3
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 指定管理業務5年目ということもあり、利用者のニーズに応える様々な工夫を行い、毎年利用者数が着実に増加している。
- 所管課と定期的な打合せの場を持ち、連携してサービスの向上に努め、スポーツセンターの設置目的にかなった運営がなされている。
- 総合型地域スポーツクラブの支援、中学生の職場体験の受け入れ、地元出身のプロ選手の紹介など、地域と連携した取り組みを行い、公共施設として宮前区でのスポーツ普及に貢献している。
- 1時間ごとにスタッフが巡回し、土足入場者、ゴミの放置、体育室の清掃状況等のチェックを行い、利用者に小まめに声かけを行っているため、開館から10年を迎えるが、きれいな状態が維持されており、利用者の満足度向上につながった。
- 7月には無料で小学生向けの器械体操教室、3月には「宮スポフェスタ」でスポーツデー種目、インボディ測定、教室プログラム、トレーニング室を無料開放し、利用者利益の還元を行い、更なる利用促進を図っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 利用者ニーズを見極め、運動を始めるきっかけづくりや継続が可能となるよう、指定管理者が持つノウハウを最大限活用した事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を行うこと。
- 高齢社会に対応し、いつまでも元気に自分の足で行動できるよう、体力の持続に向けた事業を区役所と連携して行うこと。
- 地域コミュニティの場として、施設を利用しない区民が気軽に立ち寄ることができ、また、その方たちがスポーツや健康維持に興味を持てるような運営に努めること。
- 総合型地域スポーツクラブや地域スポーツ団体などの支援を行い、地域に根付いた運営を行うこと。
- 区民の施設利用に支障をきたさないよう、計画的な保守管理を行い、所管課と連携した施設維持管理を行うこと。